

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	株式会社藤崎 本館
業種	百貨店・総合スーパー
事業所の紹介	文政2年(1819年)の創業以来、地域の発展に寄与することを第一の使命とし、愛され信頼される百貨店づくりに情熱を注ぎ、愛すべき仙台がもっと素敵な街になるよう、年間を通してさまざまな地域・社会貢献に取り組んでいます。青葉まつりでは、若手社員を中心にすずめ踊りに参加し、また、仙台七夕まつりでは毎年テーマを決めて、オリジナルの七夕飾りを制作するなど、地域のお祭りに積極的に参加し、街の活性化に努めています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	省エネ法に基づく事業者クラス分け評価制度で最高評価の「S」を獲得しています。「藤崎の環境方針-FUJISAKI ECOLOGY」に基づき、省エネ活動、温室効果ガス発生の抑制に取り組んでいます。その他、空調機器、昇降機、冷凍機設備等の設備更新の際は省エネを図れるような機種を積極的に採用するようにしています。

取組事例
<p>1. クールビズ、ウォームビズの温度設定周知</p> <p>○取り組み クールビズ、ウォームビズ期間における空調の設定温度について、事業所内の従業員に対し文書で周知を実施しています。月別、外気温度による空調温度設定の考え方を詳しく記載することで従業員が理解しやすいように周知しています。 また、期間中の省エネ目標を文書中に明示しており、従業員の省エネ意識の向上を図っています。</p> <div style="text-align: center;"> <p>クールビズ期間について</p> <p>5月 6月 7月 8月 9月 10月 外気 25℃ 30℃ 25℃</p> <p>設定温度 28℃</p> <p>24～25℃ 28℃ 24～25℃</p> <p>クールビズ期間で、1割の電力削減を10%を達成します。</p> <p>昨年夏場期のウォームビズでは電力削減が10%でしたが、夏季は全館空調利用のため、電力削減量の削減が難しいとされています。</p> </div>

取組事例

2. 蒸気ボイラーの運転業務日誌の整備

○取り組み

蒸気ボイラーの運転業務日誌が整備されており、ボイラー運転日の蒸発量、使用水量、PH値が管理されています。定期的な水質管理を実施することで不要なブローを抑制しています。

平成 27 年		ボイラー運転業務日誌							
日付	品番	ボイラー		軟水装置			PH値	全ブロー表示	全ブロー実施
		蒸発量	1日使用量	蒸発量	軟水使用量	使用水量			
7/26	26	1.0	212.2	0.7	0.2		11.4		
7/27	27	1.0	212.5	0.7	0.2	15.0	11.2		
7/28	28	1.0							
7/29	29	1.0							
7/30	30	1.0							

3. 店舗照明のLED化

○取り組み

店舗内の照明を順次LEDに更新して省エネを図っています。フロア単位で改装するタイミングに合わせて全面LEDへの更新を行っています。バックヤードの照明についても設備担当者が順次LED更新工事を行って省エネを図っています。



4. 店舗出入口へのエアカーテン設置

○取り組み

店舗出入口にエアカーテンを設置し、冷暖房の損失低減を図っています。夏季の冷房期には天井から冷気を、冬季の暖房期には出入口の左右から暖気を送り、人の出入りに伴う冷暖房損失を低減しています。

